

好調な業績が株価上昇を支える

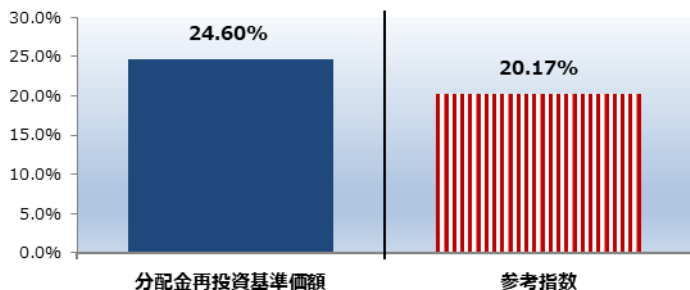
米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

2021年9月16日

平素は「米国バイオ & テクノロジー株オープン」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは、2021年9月9日に、第26期決算を迎えました。本レポートでは、第25期、第26期決算の運用報告と、今後の市場見通しについてご報告させていただきます。

パフォーマンスサマリー

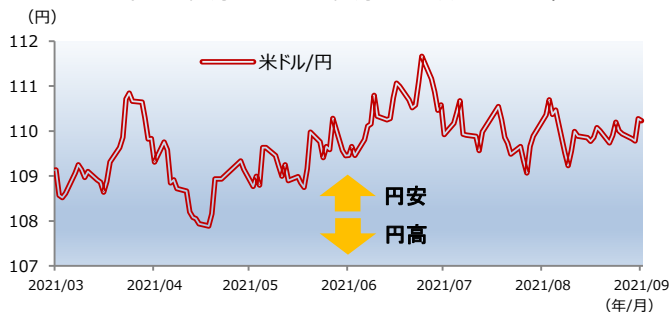
図表1 米国バイオ & テクノロジー株オープンの基準価額騰落率
(2021年3月9日～2021年9月9日)



参考指数は、S&P500種指数（配当込み、円ベース）です。
※S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。

図表2 為替レート

(2021年3月9日～2021年9月9日、日次、TTMベース)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

好業績が株価の追い風となり上昇

第25期～第26期（6カ月間）の基準価額騰落率は、**+24.6%**となりました。（図表1）

当ファンドのマザーファンドが投資するテクノロジー・ハードウェア・機器株やソフトウェア・サービス株が、好調な業績を背景に上昇したことが、基準価額にプラスに寄与しました。また、ソーシャル・ネットワーキング・サービスなどのメディア・娯楽株の上昇もプラスに寄与しました。一方、バイオ医薬品株の一部が下落し、基準価額にマイナスに影響しました。

この結果、同期間の基準価額騰落率は、**参考指数の騰落率を上回りました**。

為替市場については、円は米ドルに対して小幅に下落（円安）しました。このため、基準価額にプラスの効果となりました。（図表2）

基準価額推移

5月～6月に調整するも、その後は上昇基調が続く

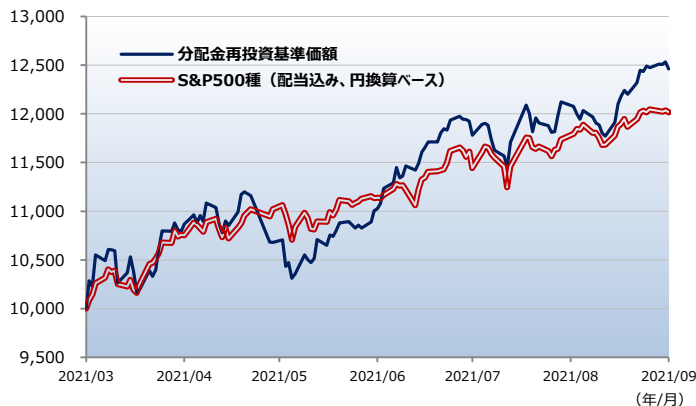
図表3は、第25期～第26期の基準価額と参考指数であるS&P500種指数の動きを比較したものです。

物価上昇に対する警戒感が高まった2021年5月上旬から中旬にかけて下落する場面があったものの、インフレは一時的との見方が優勢となり、その後は反発しました。

7月以降は、新型コロナウイルス変異株の感染拡大が懸念され、弱含む場面があったものの、多くの企業から予想を上回る業績が発表されたことが好感され上昇しました。

当ファンドの基準価額騰落率は、5月の下落局面において参考指数を下回ったものの、その後のパフォーマンスは参考指数を上回りました。

図表3 米国バイオ & テクノロジー株オープンの分配金再投資基準価額の推移
(2021年3月9日～2021年9月9日、日次)



(注) 2021年3月9日を10,000として指数化
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

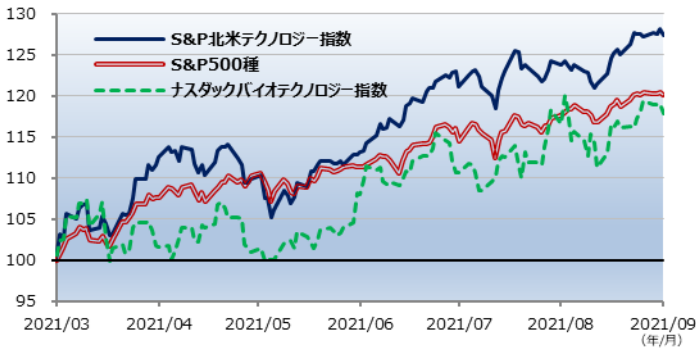
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国バイオ & テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ＆テクノロジー株オープン 追加型投信／海外／株式

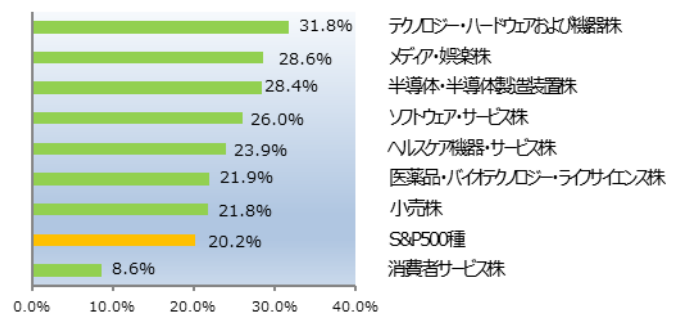
関連銘柄の動向

図表4 米国バイオ＆テクノロジー株オープン関連株の株価推移
(2021年3月9日～2021年9月9日、日次、配当込み、円ベース)



(注) 2021年3月9日を100として指数化
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

図表5 S&P500種指数産業グループ別株価指数の株価推移
(2021年3月9日～2021年9月9日、日次、円ベース)



(注) 産業グループはGICS（世界産業分類基準）ベース
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

テクノロジー関連株が上昇

図表4は、第25期～第26期におけるS&P北米テクノロジー指数と、ナスダックバイオテクノロジー指数、及びS&P500種指数の推移を示したものです。

好調な業績が株価上昇の追い風となり、S&P北米テクノロジー指数は、S&P500種指数をアウトパフォームしました。一方、ナスダックバイオテクノロジー指数は、新型コロナウイルスワクチンの売上が業績を押し上げるとの期待から、ワクチン関連銘柄は上昇したものの、一部のバイオ医薬品株において新薬の治験結果が予想を下回ったことなどが懸念され、S&P500種指数をアンダーパフォームしました。また、大型新薬として期待が高かったアルツハイマー病治療薬については、FDA（米食品医薬品局）による新薬承認時に関連銘柄の株価が急騰したものの、その後は承認プロセスに疑義が生じるなどの問題があり、株価も急騰前の水準近辺まで下落する展開となりました。

図表5は、S&P500種指数の中で、テクノロジー及びバイオ医薬品に関連した産業グループ別株価指数のパフォーマンスを示したものです。予想を上回る業績が多くの企業から発表されたテクノロジー・ハードウェアおよび機器株やメディア・娯楽株を中心に、S&P500種指数をアウトパフォームしました。

投資行動

図表6 組入上位業種の推移

第24期決算末 組入上位業種		
	産業グループ	比率
1	ソフトウェア・サービス	24.0%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	22.4%
3	ヘルスケア機器・サービス	13.3%
4	メディア・娯楽	12.6%
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	10.2%



第26期決算末 組入上位		
	産業グループ	比率
1	ソフトウェア・サービス	28.3%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	23.8%
3	メディア・娯楽	14.6%
4	ヘルスケア機器・サービス	10.1%
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.4%

※図表6の比率は、米国バイオ＆テクノロジー株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

クラウドサービスやサイバーセキュリティなど持続的な成長が期待される分野で競争力があると判断されるソフトウェア・サービス株や、遺伝子解析・編集分野で革新的な技術を有する医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株を高位にウェイト付けたポートフォリオを維持しました。

期中の投資行動としては、企業ネットワーク内の脆弱性を管理するソリューションを提供する**ソフトウェア・サービス株**を買い付けました。また、業績の上方修正を発表した**ソーシャル・ネットワーキング・サービス株**を買い増しました。一方、**ヘルスケア機器・サービス株**及び**テクノロジー・ハードウェアおよび機器株の一部**を売却しました。（図表6）

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国バイオ＆テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ＆テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

個別銘柄寄与上位・下位

図表7 基準価額への寄与上位下位銘柄

第26期 寄与上位銘柄				第26期 寄与下位銘柄			
	銘柄名	産業グループ	国・地域		銘柄名	産業グループ	国・地域
1	アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米国	1	インスメッド	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米国
2	アルファベット	メディア・娯楽	米国	2	ターニング・ポイント・セラピューティクス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米国
3	フェイスブック	メディア・娯楽	米国	3	ウルトラジェニックス・ファーマシューティカル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米国
4	ハブスポット	ソフトウェア・サービス	米国	4	アクティベーション・プリザード	メディア・娯楽	米国
5	サービスナウ	ソフトウェア・サービス	米国	5	アリーナ・ファーマシューティカルズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米国

※ Bloombergポートフォリオ分析データより岡三アセットマネジメント作成
※ 国・地域は発行国で表示しています。

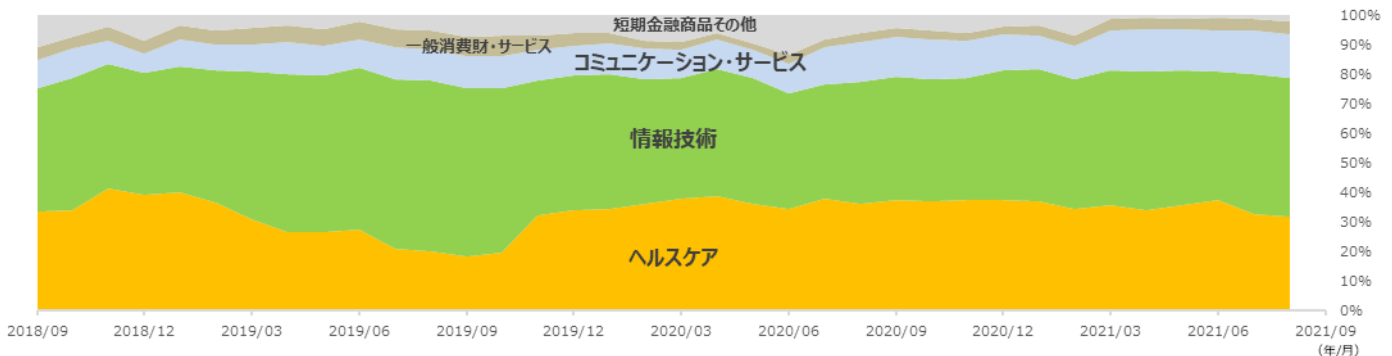
図表7は、基準価額騰落率に対する寄与度上位銘柄と下位銘柄です。業績が市場予想を上回ったテクノロジー・ハードウェアの**アップル**や、インターネット・サービスの**アルファベット**、ソーシャルネットワーキングサービスの**フェイスブック**などが寄与度の上位となりました。また、クラウドソフトウェアの分野で成長しているマーケティング・ソフトウェアの**ハブスポット**や、ワークフロー・ソフトウェアの**サービスナウ**などもプラスに寄与しました。一方、追加増資による需給悪化が嫌気された**インスメッド**や、業績が市場予想に未達となった**ターニング・ポイント・セラピューティクス**、新薬の臨床試験結果に対して慎重な見方が浮上した**ウルトラジェニックス・ファーマシューティカル**など、バイオ医薬品株の株価が下落し、マイナスの影響となりました。

今後の市場見通しと投資戦略

今後の米国株式市場は、短期的には上値の重い展開が予想されます。新型コロナウイルス変異株による感染者は、世界的に増加しており、米国経済への影響が懸念されます。このため、利益確定の売りが出やすい相場展開になるものと想定します。一方、バイデン政権が成長戦略と位置付ける子育て・教育支援、気候変動対策やインフラ投資計画に対する予算案が可決されれば、今後の経済見通しに対する不透明感が後退し、株式市場にとって好材料になるものと予想されます。

今後の運用につきましては、テクノロジー関連株、バイオ関連株ともに足元の水準を保つ方針です。一方、バイオ医薬品関連株については、ライフサイエンス・ツール＆サービス株の買付けを検討します。（図表8）

図表8 セクター別構成比の推移
(2018年9月30日～2021年8月31日、月次、円ベース)



※図表8の比率は、米国バイオ＆テクノロジー株オープンファンドの純資産総額に対する組入比率です。
※セクターはGICS（世界産業分類基準）ベース

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

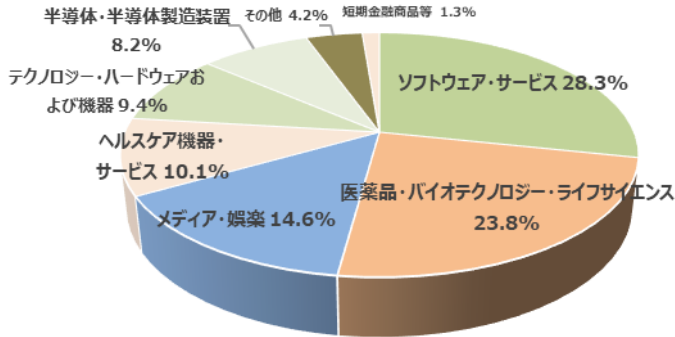
■本資料は、「米国バイオ＆テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



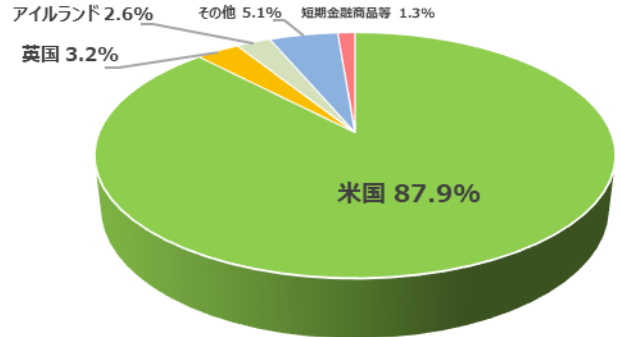
米国バイオ&テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

業種・地域別構成比と上位保有銘柄

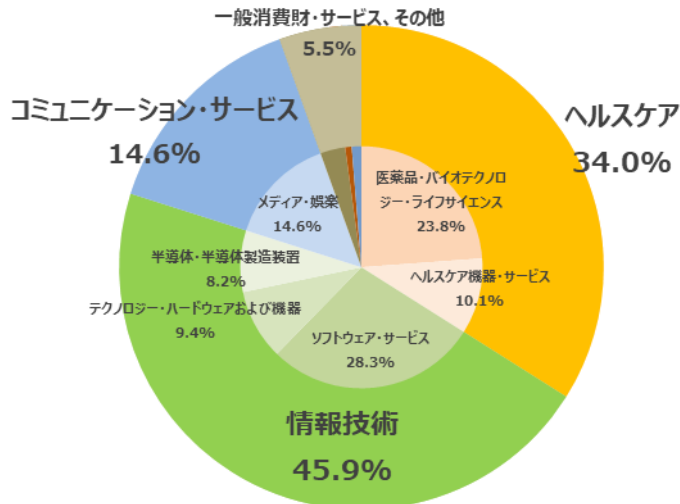
図表9 産業グループ別構成比 (2021年9月9日、円ベース)



図表10 地域別構成比 (2021年9月9日、円ベース)



図表11 セクター&産業グループ別構成比 (2021年9月9日、円ベース)



図表12 組入上位銘柄 (2021年9月9日、円ベース)

第26期決算期末 組入上位10銘柄				
	銘柄名	産業グループ	国・地域	比率
1	アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米国	9.4%
2	アルファベット	メディア・娯楽	米国	7.2%
3	フェイスブック	メディア・娯楽	米国	5.2%
4	サービスナウ	ソフトウェア・サービス	米国	3.5%
5	アストラゼネカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	英国	3.2%
6	ビザ	ソフトウェア・サービス	米国	3.0%
7	ハブスポット	ソフトウェア・サービス	米国	2.8%
8	ケイデンス・デザイン・システムズ	ソフトウェア・サービス	米国	2.7%
9	ホライゾン・ファーマ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アイルランド	2.6%
10	アマゾン・ドット・コム	小売	米国	2.2%

※図表9～12の比率は、米国バイオ&テクノロジー株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

※セクター、産業グループはGICS（世界産業分類基準）ベース

※国・地域は発行国で表示しています。

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2021年9月9日）



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※分配金再投資基準価額は、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額（円）	10,035
残存元本（口）	18,804,866,292
純資産総額（円）	18,870,685,379
実質株式組入比率（％）	92.2
短期金融商品その他（％）	7.8
組入銘柄数	60

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

決算期	分配金（円）
第21期（2020年06月09日）	1,450
第22期（2020年09月09日）	550
第23期（2020年12月09日）	900
第24期（2021年03月09日）	150
第25期（2021年06月09日）	1,000
第26期（2021年09月09日）	1,300
設定来累計 分配金	8,400

当ファンドは2021年9月9日に決算を迎え、第25期の分配につきましては、1万口当たり1,000円（税引前）第26期の分配につきましては、1万口当たり1,300円（税引前）、2期の分配金の合計は2,300円（税引前）とさせていただきます。

（作成：運用本部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.815%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○	○		
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
(登録金融機関)					
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）